

令和5年度 吹田市保健所運営協議会

1 開催日時

令和5年(2023年)6月28日(水) 午後2時から3時30分まで

2 開催方法

対面&Web(Zoom)開催

3 出席委員

土井 有羽子委員 御前 治委員 三木 秀治委員 岡村 俊子委員
大倉 佳子委員 杉本 良一委員 三谷 一裕委員 古川 國久委員

4 欠席委員

磯 博康委員 北本 恒雄委員 川畑 慶和委員

5 市出席者

保健所長 狭間礼子 健康医療部長 梅森徳晃
健康医療部次長兼保健医療総務室長 岡本太郎 保健医療総務室参事 濱本利美
保健医療総務室参事 古田彰子 保健医療総務室参事 新木知宏
健康医療部総括参事兼地域保健課長事務取扱 松林恵介 健康医療部総括参事 中村忠司
地域保健課参事 村井大介 地域保健課参事 坂原秀昭
衛生管理課長 笹田眞由子 衛生管理課参事 平田武志
保健医療総務室主幹 廣瀬智恵子 地域保健課主幹 田畑三由紀
地域保健課主幹 田中隆博 地域保健課主査 古谷全都
地域保健課主査 石田安喜 地域保健課主査 細川裕基

6 案件

- (1) 吹田市保健所の運営について
- (2) 吹田市保健所における新型コロナウイルス感染症への対応と次の感染症危機への備えについて
- (3) その他

7 議事の概要

開会 午後2時

○事務局

ただいまから、令和5年度吹田市保健所運営協議会を開催させていただきます。
委員の皆様方におかれましては、御多忙な中、御出席を賜りまして誠にありがとうございます。
今回は、対面とオンラインのハイブリット会議にて進めてまいりたいと思います。
それでは、開会にあたりまして、保健所長の狭間より、御挨拶を申し上げます。

—狭間所長 挨拶—

○事務局

それでは初めに、このたび本協議会委員において辞任されました方、そして新たに就任されました方について、御報告をさせていただきたいと思います。
資料1の委員名簿を御覧いただきたいと思います。番号2、大阪府助産師会吹田班の小竹委員が辞任され、新たに大倉委員に御就任いただきました。
番号4、吹田警察署長の高野委員が辞任され、新たに川畑委員に御就任をいただきました。
本日、出席いただいています大倉委員に、一言お願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

○委員 今年度、大阪府助産師会吹田班に就任いたしました、大倉桂子と申します。どうぞよろしく願いいたします。

○事務局

ありがとうございました。
なお、本日、磯委員、川畑委員、北本委員の3名の委員におかれましては、事前に御欠席の連絡をいただいております。
本日の会議につきましては、委員11名中8名の出席をいただいておりますので、本協議会規則第4条第2項の規定に基づく要件を満たしておりますので、本会議が有効に成立しておりますことを御報告いたします。
それでは、本協議会規則第4条の規定によりまして、議長は御前会長にお願いしたいと思います。御前会長、よろしく願いいたします。

○会長

まず事務局に確認ですが、本日、傍聴希望者の方はおられるでしょうか。

○事務局

傍聴希望者の方は現在3名おられます。

○会長

それでは、議事を進めてまいります。

議事第1「吹田市保健所の運営について」、事務局から説明を受けることにいたします。事務局、よろしくお願いいたします。

—資料2に沿って説明—

○会長

事前の資料に事前質問用紙が封入されていましたが、何か事前質問ございますか。

○事務局

事前質問はございませんでした。

○会長

それでは、この場で協議したいと思いますが、私から1点、今の説明にはなかったのですが、68ページの下部、性感染症予防ということで、HIV、クラミジア、梅毒等、非常に件数が増えていますけど、これは何か理由がございでしょうか。

○事務局

令和2、3年度のコロナが流行した影響で、検査の実施回数が減少していることが一因と考えております。

○会長

では、令和元年度頃と比較し、大きな変化はないということですね。

○事務局

はい。令和元年と比較し現在のほうが、梅毒は特に患者数が増えており、検査を受けてみようと思う対象者は増えてきているかもしれないです。

○会長

69ページの最上部においても梅毒患者の増加がわかると思います。他の委員の方で何か御質問・御意見ございませんか。後ほどでも結構ですから、御意見いただけたらと思います。

それでは、議事2にまいります。

事務局から説明お願い申し上げます。

—資料3に沿って説明—

○会長

2年前の春の第4波の頃は入院調整も大変で、保健所の方はほとんど徹夜されていたのを覚えております。その頃にワクチン接種も始まり、一番逼迫していた時期というのが私の印象です。第6波以降、感染者数自体は増えていますが、重症患者は比較的少数というのと、抗原検査ができるようになり検査体制も整ったことで、2年前の春に比べると混乱はなかったというのが私の印象です。

○委員

明らかに感染者数は増加しており、診療所にはかなり症状の強い人が来ておられます。もしかしたら軽症者が受診をしないことで重症者が増えているような印象を受けるのかもしれませんが。突然月曜日に陽性者が多数出たので急増するという印象がありましたが、周りではそれほど危機感を感じていないようです。

また、仕事量が増えました。具体的には、以前はHER-SYSで発生報告が容易に入力できました。今はG-MISで発生報告を行い、それとは別に大阪府医師会でも毎日集計を取っていて、かなり手間がかかります。少し問題点だと思うのが、G-MISは陽性者数の項目がない。また、医療資材の状況の項目もありますが、現状ではあまり意味がない。HER-SYSも課題は多かつ

たですが、今のほうが送付するものが多くより手間がかかる。

○会長

HER-SYSとG-MISについて、非常に入力の手間がかかるというのは実情だと思います。この3年ほど、保健所の疫学調査の労力がかなり大きかったのではないかと思います。だからこそ効率がいいように、様々なシステム等で、できるだけ効率のいいようにする必要があると思います。これらの話は吹田市保健所だけではなく全国的な話ですので、適切な機会があれば要望していただきたいと思います。

○委員

医療機関としては市民の皆様、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局を持っていただき、普段から自分の健康の状態を把握していただきたいです。また、吹田市では様々な健診等も行っているため、それらの周知を要望していただきたい。

○委員

最近、抗原検査キットをお買い求めになる方が増加しています。また、発熱患者様が薬局に来られることが多くなりましたので、他の患者様がいらっしゃる場合には、別のところに移っていただいております。

一時期パルスオキシメーター、抗原検査キット不足の時期があり患者様に御迷惑をかけたことが、薬局の在庫が不足することがないように周知、準備をします。

また、コロナの治療薬等も、全ての薬局にあるわけではありませんが、薬局同士で、紹介し合うという対応で、患者様が困らないような体制を取っていきたいと思います。

○委員

助産師会は、吹田市から委託を受けた妊産婦さんの訪問等を実施しておりました。初めて緊急事態宣言が出た第1波では、未知の感染症ということで、妊産婦さんの訪問に関しては、希望なさる方の日程分の縮小をしましたが、それ以降の月は妊産婦さん訪問のニーズが高かったということで、縮小することなく、感染対策を取りながら積極的に訪問を実施していました。

助産師会は、吹田市母子保健課の依頼を受けた委託事業として訪問事業をしていましたが、やはり妊産婦さんは、病院で立会い出産がなくなったり面会ができなくなったり、とても孤独を感じる方が多く、そんな中訪問すると、すごく孤独を感じていた、すごくお話ししたかったという声がとても多くて、訪問できてよかったと感じています。

国の少子化の事業として、子育て応援金が始まり、訪問の人数がより増加し、助産師会への委託事業も増えたので、今後とも、妊産婦さんの訪問を縮小することなく充実させていきたいと思っています。

○委員

公衆衛生協力は、生活衛生関係の営業が中心の団体で、コロナウイルスの感染が広がったときに、最初にやり玉に挙げられた飲食店、旅館、娯楽、それから散髪屋、美容室等の営業をしていました。そのため、3年前に保健所が大変なときに公衆衛生協力会としても何か協力できることはないか理事会で話をしましたが、それぞれ自分の団体からクラスターを出さないように注意をしましょうと申合せをして以降3年間、理事会以外の活動はほとんど行っていませんでした。

最近は9波の入り口ではないかという怖い話もありますが、その症状から、前みたいな自粛、自粛ということにはならないだろうと安心しています。コロナに関しましては、アクリル板、消毒薬の設置、大阪府の合同ステッカー等、できるだけの対策をして営業を続けてきました。皆さんの話を聞くと、コロナ前の8割ぐらいまで売上が戻り、もう一息という感覚です。

○委員

商工会議所として、私も仕事柄、医療機関で仕事しており、今日の話、非常に御努力いただいていることが改めてよく分かりました。保健所さんの日頃の備えと一致団結がまずベースにあったと思います。ここまでやっていただいたことについて、敬意を払いたいと思います。今後もよろしくをお願いします。

保健所行政については、20年前の結核を中心にしていたころに比べて、いざというときの保健所の役割というのは非常に重要だろうと思います。改めて予算措置を、国も改めてやらなきゃいけないというふうに思います。限界がありますので、その限界の中で一致団結されて、これまでの業績を御努力いただいて出されたことについて、本当に敬意を表しています。これからも、こんなことがいつ起きるか分かりませんので、これからもどうぞ力を落とされずに、これまで努力されたことに敬意を表しますので、頑張ってください。以上です。

○会長

ありがとうございました。力強い応援もありましたけど、保健師さん、何かありますか。このコメントについて。所長、よろしくをお願いします。

○事務局

いろいろな御意見をいただきまして、また応援をいただきましてありがとうございます。

入院調整につきましては、これからも重症者が増えることを一定想定して、府と保健所でも、体制整備をしているところでございます。

G-MISにつきましては、現場の先生方が大変お困りということで、そのことは府にも伝えて、改善を要望してまいりたいと思います。

○会長

ありがとうございます。

○委員

健康づくり推進事業団の理事長ということで、いろいろと事業は細々ながらこれまでもやってきまして、「チャレンジDAY」という運動系のイベントに関しては、かなり成果が上がってきています。私は、医療系なので、みんなの健康展というのをやらせてもらっていますけども、保健所にも協力していただいています。去年からメイシアターにて対面で少しできるようになった。

そして、今年9月には元全面的に今までどおりにやることになっています。コロナの第9波が、ひょっとしたらまん延しつつあるときかもしれないですけど、今回はそれでもできるだけ感染対策をしながらやろうという方針で、今実行委員会を進めています。実際にできるかどうかは分からないですけども、何しろ、社会を回していかなきゃいけないという立場に立って、ずっと抑制、抑制でやってきましたが、できる範囲の中で元に近づかせてやろうと思っています。

それから、ほんとに吹田市保健所というのは、大阪府の中でも最もうまく、かなり苦勞をされていたのは確かですけども、ほかのところも逼迫しているも吹田市は余裕を持ってできていました。これは中核市になったことによって、もともと保健所におられた保健師さんとか、それから吹田市に勤められていた保健師さんとか、そういうのが一緒になって対応に当たれたなんていうのは非常に大きかったのかなと思います。

それともうひとつは、市全体で、もう最初から、保健所だけが頑張った、吹田市だけが頑張っただけじゃなしに、三師会をはじめとして、それから消防士の方、みんな一緒になって、いろんなことを協力してやれる体制ができてというのも、吹田市の強みだなと感じます。

最後に、コロナのワクチンに関してですが、始まった5月の最初の2週間は、多かったです。最近ではほんとにパラパラ来られるという感じになって、実は今日は久しぶりにちょっと多めの予約が入っている状況です。

打ちに来る人が少なくなったものから、6月中は毎日1本ずつ使っているという感じになってはきていますが、テレビで沖縄では医療が逼迫しているというのを出したものだから、昨日まで予約してなかった人も急に入り出したという感じがあります。何かそういう関心を持つように

もうちょっとしていただいてもよかったかなという印象は持っています。吹田市は、ほんとうまくやっているなと思ったのでちょっと言わせてもらいました。

○会長

ありがとうございます。私、実はワクチンの接種をやっていて、もう6月いっぱいはやめようかなと。もう7月も予約入らないです。

○委員

大学のことを少しお話させていただくと、学生は、この5月に5類になってから、マスクは自由ということですが、グループワークとかペアワークとかをするときにはマスクをしなさいというところで、看護学部においては、もうほぼ皆さんマスクをして学校に来ています。ワクチンをしていないと実習には行きにくいよという話をしているので、接種率もいいなどは思っているところです。あとは変わったところで言うと、今までワクチンの接種をして副反応がひどい場合、接種した次の日のお休みは公欠扱いを去年まではしていましたが、今年からは、もうそれはなしというふうになっていたりして、徐々に前の生活に戻りつつあります。やはり手洗いとか感染とか、食事するときは黙ってするとか、そういうところはまだまだ守っていて、何とかクラスターは起こさずにきています。

今回、先ほど他の委員もおっしゃったように、接種実績とかをちょっと見せていただいて、今、吹田市のこの6月末のも出ていますが、やっぱりおっしゃるように6回目の接種率って、なかなか上がっていきません。接種率の目標を出すのは国かなとは思っていますが、理解とか教育とか、どの程度この予防接種について、していったらいいのかというところが難しいところで、個人的なこともあるから、大学としても絶対受けなさいなんて言えなかったりするところがあります。あとは私の周りで30代の方たちと接する時には、やはり副反応がちょっとひどかったのもう3回打ったらいいやろうということをよく相談されて、いいですよと言われてしまうと、いや、いいとは言えないけど、私ももごもごしてしまうところがあります。

もう少し予防接種の利点とか、デメリットもお話して、じゃあどうしていったらいいのかという辺りの啓発というところが進めばいいなというふうなことを思っています。よく、どうするって言われたら、すごく難しく、なかなかほんとに発言はしにくいですが、やはりせつかくの予防接種があるならば、この予防方法というのは勧めていきたいという気持ちがあるので、その辺りの難しさと今回の計画の辺りで、また皆さんのご意見を聞いて、よい方向を向くようにしていきたいなと思っております。以上です。

○会長

ありがとうございます。健康医療部のほうでも検討していただきたいと思います。

○委員

薬局のほうにも患者様いろいろ来られて、やはりワクチン接種を迷われる方が結構多いです。私が申し上げているのは、やはり薬局に来るような方というのは、慢性の御病気をお持ちの方が多いため、やはり重症化を防ぐという意味では、ワクチン接種をしたほうがよいと思いますというふうに申し上げています。

それと大きいのは、接種券がやっぱり手元に送られてくる方というのは、もう受けとくかとなるような感じです。反対に、接種券をわざわざホームページから申請する方は、もう面倒くさいなとなっているような傾向があるかなと思っておりますので、その方式でいかれるのであれば、また医療機関なりの啓発活動が必要なかなと思っております。以上でございます。

○会長

ありがとうございました。市のほうから一斉に発送しているところもあるらしいですけど、吹田は一応申請してからということになっております。高齢者以外はですね。

ほか、委員の方々、言い忘れたこと、何かございませんでしょうか。

ほぼオンタイムで終了することができまして、本当にありがとうございます。

ほかに御意見がないようでしたら、本日の運営協議会は、これで終了したいと思いますけど、事務局のほうから連絡事項、何かありましたら。

○事務局

議事2のところでも御説明申し上げておりますけれども、感染症予防計画策定のため、本年度中に臨時運営協議会を開催させていただく予定にしております。開催は、12月と来年3月の2回を予定させていただいておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

以上です。

○会長

開催方法に関しては、未定ということで、先ほど御報告がございました。

それでは、本日の運営協議会は、これで終了させていただきます。

御協力ありがとうございました。

閉会 午後3時33分